

事業番号	35
------	----

平成24年度事業評価シート（平成23年度事業の評価）

1. 事業の概要

事業名	コーちゃんフェスティバル				担当課	スポーツ振興課	
事業期間	開始年度	～	終了予定年度		担当係	スポーツ振興係	
総合計画	めざすまちの姿	1 人が育つまち					
	目標	⑥ 学習・スポーツ活動の環境を充実する（生涯学習・スポーツ振興）					
	成果指標	市民のスポーツ実施率		中間目標 (H27)	52%	最終目標 (H32)	57%
予算区分	一般会計	10 款 教育費	7 項 保健体育費	2 目 スポーツ振興費			
	細事業	308 スポーツ活動費（コーちゃんフェスティバル）					
位置づけ	関連計画						
	根拠法令						
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 ・ <input type="checkbox"/> 国 ・ <input type="checkbox"/> 県 ・ <input type="checkbox"/> その他						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施・運営 <input type="checkbox"/> 一部又は全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他（						
対象(誰のため)	<input type="checkbox"/> 全市民 <input checked="" type="checkbox"/> 特定の市民 <input type="checkbox"/> 特定の団体 <input type="checkbox"/> その他						
事業の目的(何のため)	市民のふれあいや心身の健康増進						
内容(概要)	<p>誰でも手軽に出来るスポーツイベントの開催を通して、市民のふれあいや心身の健康を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NO.1イベント(11種目) ・体力測定・健康チェック・ウォーキング 						
これまでの改善・見直しの状況	<ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度 インフルエンザ感染拡大防止のため中止とした。 ・毎回種目ごとに運営方法からスクラップアンドビルドにより実施している。 						

2. コスト

(単位:千円)

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度事業費
事業費	予算	153	153	153	(内訳)
	決算	84	94		物件費(消耗品費) 46
財源内訳	国庫支出金				物件費(食糧費) 30
	県支出金				補助費等(保険料) 18
	地方債				94
	その他				
	一般財源				
職員人件費		2,202	2,273	2,089	人工 0.3 人

3. 事業の評価

事業の実施状況

活動指標	内容	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	達成率
			参加人数	人	目標 150	
		実績 120	177			
			目標			
			実績			
			目標			
			実績			

実績・改善	平成23年度 活動内容	多くの種目、多くの体験が出来るように、スポーツ推進委員会、体育協会がそれぞれ運営を行う管轄を決め、種目を専門的に運営することにより、スムーズな運営が出来た。 コーちゃんフェスティバルの広報・PRの方法として、開催チラシの学校への配付、「広報こさい」への掲載、静岡新聞社ホームページ「アットエス」への掲載、他イベントでのチラシ配付を行った。				
	課題・問題点 となった事項	これまでの市民体育祭のように参加を強制するものではなく、市民体育祭に代わり、「ふれあいを主体としたスポーツイベント」であるため、PR方法を慎重に行う必要がある。				
	どう対処したか	スポーツ少年団、少年スポーツクラブ、中学校部活、体育協会の各クラブにもPRを行った。				
	改善点	誰でも気軽に参加できるスポーツ種目を選択して実施した。			効果額 H24-H23 (千円)	

自己評価	事業目的の 達成状況	2歳から81歳までと幅広い年齢層からの参加者があり、湖西NO.1イベント11種目を行って、参加者も前年度に比べ増加したため、一応の成果は見られた。				
	※必要性 事業を廃止・休 止したときの影響	スポーツの持つエネルギー（生活への活力）を提供できなくなる。				
	判定	A 継続	より一層の充実を図り実施	事業主体	市	
	判定理由	スポーツを通じ、家族、友人等の心のふれあいが出来るイベントとして、市が継続して実施をしていく。今後、さらなる市民の参加を得るために効果的なPR方法を検討する。				
今後の方向性	誰でも、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことが出来る生涯スポーツ文化の創造をめざす。					